



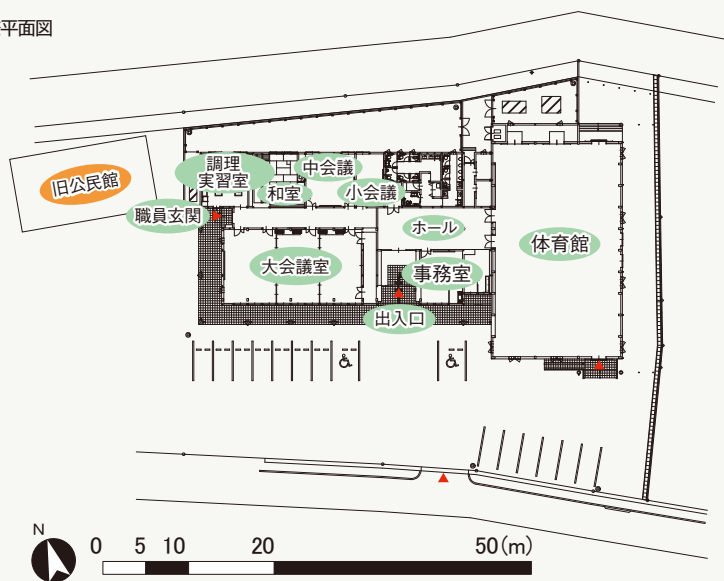
八幡平市
おおぶけ
大更コミュニティセンター

施工地/岩手県八幡平市大更第25地割55番地12
竣工年月/平成21年7月
敷地面積/2,925.85㎡
延床面積/1,124.09㎡
構造/木造平屋建

地域文化の拠点を目指して

生涯学習の拠点施設づくりと地域住民のコミュニケーションの場の創造を目指し計画された大更コミュニティセンターはあらゆる人が利用しやすい施設としてユニバーサルデザインを取り入れ、多種多様な活動に対応し地域文化を発信する、賑わいある街づくりの中心施設として整備されました。南側前面道路に面する駐車場は隣接する旧公民館との繋がりを考慮して十分な広さを確保し、屋外イベントなどの多目的な利用による地域交流の促進を図るスペースとなっております。

■ 配置図兼平面図



自然の香り溢れる空間

外観は、周辺の自然豊かな景観と調和するよう木質系の材料を多用し地域コミュニティの中心施設として温かみと落ち着きのある計画いたしました。

また内部も同様に木材をふんだんに用い自然の持つ優しさを表現し、木のぬくもりが充分に感じとれる空間となっております。

構造は八幡平市産材の唐松を用いた大断面集成材の木造とし十分な耐震性の確保と大スパンの広い空間を実現いたしております。

地球にやさしい建築提案

施設の計画においてはコストの削減や維持管理などに配慮し取り組みました。

十分に日照を得られるようトップライトや高窓を設け採光による明るさを確保し冬季の暖房費等の削減に努め、玄関への風除室の設置や高い断熱仕様の外壁・ペアガラス・断熱サッシなどの採用により空調負荷を軽減しランニングコストの削減を図っております。

また、軒の出の深い計画による外壁の保護や、構体に比べて寿命の短い配管設備にはリサイクルを考慮した配管材料の選定など部位に応じたライフサイクルに配慮する長寿命建築を実現いたしました。



ホール



大会議室



中会議室



和室会議室



体育館



多目的トイレ



調理実習室